

AI Max導入判断シート

AI Maxをオンにする前に6つを確かめ、止める設定を決め、テストで比べて、オンにしたあとを見
回るための6枚

この6枚でできること

- ☐ オンにする前の6つの確認を、表で済ませられる
- ☐ 業種別の向き不向き12業種から、自分の店の進め
方を選べる
- ☐ 広げる機能と抑える機能のスイッチの場所を、一覧
で確かめられる
- ☐ 自動でアップグレードされるものと、最適化案の自
動適用を月に1回点検できる

使う順番

2ページで6つを確かめる → 3ページで自分の業種の行
を見る → 4ページで止める設定を決める → 5ページの
手順でテストする → 6ページで毎月点検する。

目次

2	オンにする前の6つの確認表 予算、計測、サイト、トラッキング、固定アセット、キーワードの優先順位
3	業種別 向き不向きと、先に決める設定 12業種の架空の店で、進め方と気をつけること
4	機能とスイッチの一覧 広げる、絞る、抑える。キャンペーン単位か広告グループ単位か
5	テストの手順と、オンにしたあとの確認表 2週間触らない、レポートで見ること
6	毎月の点検表と、やってしまうと困ること 自動アップグレード、最適化案の自動適用、確認先

数字と決まりの出どころ

この資料に載せた機能、単位、日付（テキストのカスタマイズは2026年9月から、動的検索広告は2027年
2月からAI Maxへ自動アップグレード、自動適用の対象の変更は2026年1月26日）は、Google広告ヘルプ
に2026年10月10日時点で書かれていたものと、講座第40回の記事本文にあるものだけです。業種別の向
き不向きは運用の経験からの見立てで、公式の基準ではありません。例はすべて架空の店です。

オンにする前の6つの確認表

全部に印が付いてからオンにする

確認すること	確かめる場所	済
1 予算による制限を受けていない（制限があると効果を発揮しない）	インプレッションシェアの損失率（予算）。講座第36回	
2 計測が正しく動いている	コンバージョンアクションの状態が「コンバージョンを記録中」。講座第33回	
3 サイトの内容が正確（料金、営業時間、創業の年、商品）	広告文の元になるサイトを自分で読む	
4 トラッキングテンプレートの{lpurl}が推奨の形（{lpurl}?、{lpurl}&、{lpurl}#、{lpurl}）	サイトや計測の担当の方に確かめてもらう	
5 固定アセットに頼っていない（URLの拡張が有効だと無視される）	レスポンシブ検索広告の固定	
6 キーワードの優先順位が変わってよい（インテント マッチは完全一致として扱われなくなる）	完全一致とインテント マッチの並び。講座第15回	

1がいちばん多いつまづぎ。記事で見た運用中の検索キャンペーンでは、15中8で予算による損失が20%以上ありました。この状態でオンにしても、広がった先の検索に使う予算がありません。

サイトで先に直すもの（書き込む）

ページ	古い、または広告に出て困る記載	直した日

業種別 向き不向きと、先に決める設定

12業種の架空の店

向いていることが多いのは、商品やサービスの種類が多く、サイトのページが充実していて、お客様の検索の言い方が多様な商売です。表現に法律の決まりが多い、商圏が狭い、予算が少ない商売は慎重に進めます。どの場合もテストで比べてから決めます。

業種	進め方	理由	先に決める設定
歯科医院	慎重に	治療の効果の表現に決まりが多い。サイトの記載を先に確かめる	URLの除外（料金表の古いページ）
整体院	慎重に	商圏が狭い。広がると遠方の検索に出やすい	地域の設定を先に確かめる
学習塾	テストで比べる	検索の言い方が多様（地名、学年、教科）	ブランドの除外（他の塾名）
リフォーム店	テストで比べる	工事の種類が多く、ページも多い	URLの除外（施工事例の一覧など）
不動産会社	向いていることが多い	物件ページが多く、関心対象地域が効く	URLの除外（成約済みの物件）
食品の通販	向いていることが多い	商品が多く、検索の言い方が多様	固定アセット（表示の決まり）
化粧品通販	慎重に	効果の表現に決まりが多い	テキストのカスタマイズの文を毎週読む
美容室	慎重に	商圏が狭く、予算が少ないことが多い	予算の損失を先に見る
税理士事務所	テストで比べる	相談の言い方が多様	URLの除外（採用ページ）
採用ページ	慎重に	求人の表現に決まりがある	テキストのカスタマイズをオフにして試す
部品メーカー	テストで比べる	型番の検索は完全一致で十分なことが多い	キーワードの優先順位の変化
宿・旅館	向いていることが多い	関心対象地域が効く（遠方から調べる人）	ブランドの除外（別の宿名）

表は運用の経験からの見立てで、公式の基準ではありません。例は架空の店です。

自分の店を書き込む

項目	書き込む
進め方	
理由	
先に決める設定	

機能とスイッチの一覧

広げる方向を、先に閉じる

機能	働き	単位	自分の設定
検索語句とのマッチング	広げる（キーワードの外の関連する検索にも出る）	広告グループ	
テキストのカスタマイズ（旧 自動作成アセット）	広げる（広告文を作り足す）	キャンペーン	
最終ページURLの拡張	広げる（飛び先を選ぶ。テキストのカスタマイズが必要）	キャンペーン	
URLの登録	広げる（拡張で拾われなかったURLを含める）	広告グループ	
関心対象地域	絞る（関心のある地域で届ける）	広告グループ	
ブランドの登録	絞る（関連付けるブランドを指定）	キャンペーンと広告グループ	
ブランドの除外	抑える（特定のブランドの横に出ない）	キャンペーン	
URLの除外	抑える（飛び先にしたくないページを外す）	キャンペーン	

除外しておくものを書き込む

種類	入れるもの
ブランドの除外	
URLの除外	
除外キーワード	
その他	

「自分の設定」の欄には、オン、オフ、未定を書きます。AI Maxをオンにすると、検索語句とのマッチングとアセットの最適化は最初からオンになります。

テストの手順と、オンにしたあとの確認表

AI最大化設定テスト（チェック）

- ☐ キャンペーン → テスト → プラス → キャンペーンの機能と設定
- ☐ 検索キャンペーン向け AI 最大化設定 → 続行 → キャンペーンを選ぶ
- ☐ テスト群の割合、期間、名前、自動適用するかを決めた
- ☐ キャンペーンが1つなら、テキストのカスタマイズ、URLの拡張、ブランドの登録と除外もここで決めた
- ☐ 目的の数字を1つ決めた（講座第38回）

今のキャンペーンの中で、AI Maxがオフ（対照群）とオン（介入群）に分かれます。コピーを作らないので、結果が早い、設定のずれが起きにくい、学習期間の短縮が期待できる、と公式ヘルプにあります。

オンにしたら、除外の追加などの変更は少なくとも2週間待つ。Googleが学習と最適化を行う期間です。

オンにしたあとの確認表（週に1回）

週	検索語句「AI 最大化設定」の行（意図違いは）	作り足された広告文（事実と違う文は）	自動で選ばれたページ（合わないページは）	対応

見る場所 → 検索語句レポートのマッチタイプ「AI 最大化設定」と「ソース」列、アセット レポート、ランディング ページ レポートの「選択方法」列。

毎月の点検表と、やってしまうと困ること

点検すること	1月目	2月目	3月目
AI Maxがいつの間にかオンになっていないか（テキストのカスタマイズは2026年9月から自動でアップグレード）			
動的検索広告を使っているなら、2027年2月の前にテストで比べたか			
最適化案の自動適用がオンか、何がオンか（アカウント単位）			
変更履歴を「ツール」「ユーザー」で絞り、自動で変わったものを見た			

最適化案の自動適用で予算が引き上げられることはありません。2026年1月26日から「レスポンス検索広告を追加する」は自動適用の対象外です。記事で見た運用中の11アカウントのうち3つで、自動適用が1つ以上オンでした。

やってしまうと困ること

やってしまうこと	何が困るか
予算に制限があるままオンにする	効果を発揮しない
サイトを直さずに広告文だけ消す	同じ文がまた作られる
見出しを固定したままURLの拡張をオンにする	固定が無視され、必ず出したい文言が出ない
オンにした翌週に除外を大量に足す	学習の途中で変更が入る。2週間は待つ
トラッキングテンプレートを確認めずにオンにする	選ばれたページで404が出ることもある
最適化案の自動適用をバンドルでまとめてオンにする	中身が広く、配信の範囲や学習に大きく響く変更まで入ることがある。カテゴリごとに選ぶ

確認先（Google広告ヘルプ・2026年10月10日確認）

検索キャンペーン向け AI 最大化設定の仕組み	support.google.com/google-ads/answer/15910187
AI 最大化設定テストについて	support.google.com/google-ads/answer/16450159
検索キャンペーン向け AI 最大化設定のレポートについて	support.google.com/google-ads/answer/16470459
検索キャンペーンのテキストのカスタマイズについて	support.google.com/google-ads/answer/11259373
最適化案の自動適用について	support.google.com/google-ads/answer/10279006